

令和7年7月定例教育委員会 議事録

1. 日 時 令和7年7月23日（水）13時30分から14時20分

2. 場 所 中央公民館 講義室

3. 出席委員 教育長 宮本 隆

教育長職務代理 佐藤 一郎

教育委員 本城 慎之介

鈴木 淳子

藍原 尚美

4. 事務局 こども教育課長

生涯学習課長

こども教育課課長補佐兼学校教育係長

こども教育課児童係長

こども教育課軽井沢高校・教育魅力化推進係長

こども教育課子育て支援係長

生涯学習課課長補佐兼社会教育係長

生涯学習課課長補佐兼文化振興係長

生涯学習課図書館長兼図書館係長

5. 傍聴人 0人

1. 開会

<こども教育課長>

それでは定刻となりましたのでただいまより 7 月の定例教育委員会を始めさせていただきます。

初めに宮本教育長よりあいさつをお願いします。

2. 教育長あいさつ

<宮本教育長>

はい。皆さんこんにちは、お忙しいところお集まりいただきました。

昨日も今も話ありました夕立がすごくてですね。子どもたちのちょうど下校時間になので、各学校大変なんんですけど、先週ですかね、東部小の地区が停電してまして、1 時頃から 3 時頃までと 2 時間ほど。今停電すると電話も使えない。昔の電話だったら、電気が通ってる電話は生きてたんですけど、今電気で全部連絡手段が途絶えて、私もタブレット生きてるんだから totoru は使えるんじゃないって言ったら、学校の Wi-Fi も電気なもんで、Wi-Fi 落ちちゃうと、だから使えないってことで、今さっきちょっと話したら、緊急事態なので、先生たちの個人のスマホとかでテザリングでやれば、どうにかなるねって話をして、それで totoru とかあるいはトモリンクスできれば保護者と連絡手段ができるんだなっていうことで、そういう形で非常事態を乗り切りましょうっていうふうにするようにします。

ということで、いろんなことで緊急事態に対応しなきゃいけない。話は別ですけど 7 月 8 日の夜ですね、オープンドアの関係で不登校気味の生徒、保護者とお子さんに声をかけたところ、かなり集まって、教育委員さんの方にもご出席いただいた部分もありますけれども、ワークショップを開いて、いろんな話を聞いていただきましたけどそういった保護者の方では、こんな話ができたらなかなか良かったと話もあれば、あとお子さんは子どもさんだけで話せると思ってきたのに、ちょっと親、保護者の方に入って話しづらかったって話がありましたので、次回 8 月 22 日の日はですね、子どもたちだけのワークショップっていうもの。それは不登校気味の子どもたちに声をかけて。できれば軽高で、今行っている子どもたちの中で、軽中出身者で、不登校経験者にもお兄さん、お

姉さんに来てもらってお話を聞いていただければというふうに思っています。こういった今回のアンケートとかワークショップに、前お話しましたけども、私たちの学校をつくるアンケートっていう名前をつけましたけども、私たちの学校をつくる何々っていうふうな形ですね、要は既存の学校を変えていく。それで新しい学校を作るっていうのもそうなんですかけれども、そこに保育園とかですね、児童館の改革みたいなものも含めて、要は町内におけるその施設とかそういう教育関係、保育関係の何て言いますかね、時代に応じた対応、適用っていうのを総称して、私たちの学校をつくる運動みたいなそんなようなキャッチフレーズをつけてですね、あるいは旗印にして今後取り組んでいきたいなというふうに思っているところであります。

今日またいろんなことでご審議いただきますけど、よろしくお願いします。

<こども教育課長>

ありがとうございました。それでは次第に従いまして3の報告事項以降は教育長の進行でお願いいたします。

3. 報告事項

<宮本教育長>

はいそれでは、報告事項(1)教育委員会行事・事業報告についてお願いします。

<こども教育課課長補佐兼学校教育係長>

お願いします。資料1ページをお願いいたします。教育委員会行事・事業報告。期間につきましては令和7年6月26日～令和7年7月23日

6月26日、社会教育委員会第1回定例会、中央公民館。同じく26日、第2回ICT教育研究部会、軽井沢中学校。28日、全日本バレーボール大会小学生大会、軽井沢風越公園総合体育館、7月4日、長野県町村教育長会研修総会、山形村農業者トレーニングセンター。7日、通学路及び水難危険箇所パトロール開会式、中央公民館。同じく7日、市町村教育委員会と県教育委員会と

の懇談会、東信教育事務所。8日、博物館等施設運営協議会、中央公民館。12日、軽井沢高校噴煙祭、軽井沢高校。14日、第3回軽井沢オープンドアスクール(仮称)設置準備会議、軽井沢発地市庭。15日、草軽電鉄模型贈呈式、歴史民俗資料館。17日、軽井沢高校学校評議員会、軽井沢高校。22日、3市町共同事業理事者会議、御代田町。23日、町校長会、西部小学校。同じく23日、7月定例教育委員会、中央公民館。

行事・事業報告については以上になります。

<宮本教育長>

はい。続いて（2）教育委員会の行事日程についてお願ひします。

<こども教育課課長補佐兼学校教育係長>

はい。資料2ページをお願いいたします。

教育委員会行事日程になります。期間につきましては、令和7年7月24日～令和7年8月27日

7月24日、表現コミュニケーション教育委託諏訪市教育長視察対応、東部小学校。25日、議会全員協議会、役場。26日、草軽電鉄物語～高原の記憶から～講演会、中央公民館。27日、しなの追分馬子唄道中、追分宿。29日、長野県教育委員会採用面接、信州大学教育学部附属長野中学校。30日、軽井沢町教職員夏季研修、軽井沢中学校。8月1日、軽井沢ショ一祭2025、軽井沢ショ一記念礼拝堂。2日、軽井沢ゆうすげの集い2025、軽井沢プリンスホテル ウエスト。同じく2日、戦後80回目の平和記念に寄せてコンサート「命ある限り輝いて」、軽井沢大賀ホール。6日～8日、第77回軽井沢夏期大学、中央公民館。15日、戦没者追悼式、中央公民館。16日、新軽井沢区花火大会、矢ヶ崎公園。25日、佐久地区市町村教育委員会連絡会議(オンライン会議)、中央公民館。27日、町校長会、軽井沢中学校。同じく27日、8月定例教育委員会、中央公民館。次のるるぱるイベント関係につきましては、子育て支援係長より説明をさせていただきます。

<子育て支援係長>

お願いいいたします。資料1、るるぱる8月号をお願いいたします。8月の子育て支援センターの主な行事になります。子育て講演会ですが8月26日、火曜日、10時30分～11時30分となります。対象は1歳～3歳までの親子で、リトミック研究センター、インストラクターの高林愛里先生による親子で楽しくリトミックと題しまして、体験型の講演会となります。相談関係につきましては、随時日頃の困りごと等を伺い、相談対応を専門職の方がさせていただいております。3ページ目になります。6月の子育て支援センターの利用者数は743人、相談件数は64件となります。詳細につきましては別紙をご確認ください。以上となります。

<宮本教育長>

はい、ありがとうございました。

2つありましたけど、何か。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

それではですね。（3）各種行事への後援等について

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

はい。資料の3ページをお願いいたします。

今回4件ございます。行事名、主催者、開催日、場所の順で説明をさせていただきます。

1件目、令和7年度（第46回）日本大学軽井沢公開講座、日本大学の主催で9月27日、土曜日に日本大学軽井沢研修所で開催予定。

2件目、マーチフォーザディ 2025、マーチフォーザディ 2025 実行委員会の主催で、9月20日、土曜日に新軽井沢会館とその周辺で開催予定。

3件目です。自然の中で想像の世界を広げて遊ぼう！【体験編】森に自分たちだけのスミカを作ろう！、主催者がM i n a W a t o t o です。開催日が9月7日、日曜日、御代田 面替の里で開催。こちらにつきましては昨年度から後援を承認しております。昨年は森のようちえんぴっぴと面替の里でやってます。今年はもう5月とかから7月にかけましてぴっぴでやってるんですが、今回9月には面替の里でやるということで、継続して出席している軽井沢の方もいることから、後援を承認したものでございます。

4件目、第48回 新軽井沢夏祭り、新軽井沢区の主催で、8月15日から16日、土曜日まで、矢ヶ崎公園広場で開催予定。

以上4件でございますが、以前に後援をしたものでありますので、教育長の専決とさせていただきました。報告させていただきます。

4. 協議事項

<宮本教育長>

はい。（3）について続いて、4. 協議事項に移ります。（1）町外の小学校に通う児童の放課後子ども教室の利用ですけれども、これは個人情報がございますので、あと非公開の場面でお願いいたします。それでは（2）各種行事の後援等、それではお願いします。

<生涯学習課長補佐兼文化振興係長>

それではお願いします。資料3をお願いします。後援になりますけど、件名がですね、荻原豊次と食の未来を考える集い開催に伴う後援依頼についてになります。申請者は荻原豊次と食の未来を考える集い実行員会 藤巻進。名称は荻原豊次と食の未来を考える集いで、実施期間になりますけど9月20日、土曜日、午前10時から12時、開催場所につきましては第一部を中央公民館、第二部は荻原豊次頌徳碑前（古宿）になります。参加費については無料となっております。1枚めくっていただくと、こちら申請書、もう1枚のところにあり

ますのが荻原豊次さんの功績が書かれております。

この方ですね、昭和17年に革命的な技術としまして「保温折衷苗代」を創案しまして、当時、寒冷のため苗の育ちが悪く不作に悩まされていた。そういうところをかなり功を奏しまして、稲を早く育てることができた。といった名譽町民になっている方の集いとなっております。以上となります、ご審議のほどよろしくお願ひします。

<宮本教育長>

いかがでしょう。よろしいでしょうか。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

ご承認されたということで。はい、次お願ひします。

<生涯学習課長補佐兼文化振興係長>

はい。続きまして、資料の4をお願いします。こちらの方ですね後援依頼になります。件名がですね、浅間国際フォトフェスティバル 2025 PHOTO MIYOTA 開催に伴う後援依頼になります。申請者は、浅間国際フォトフェスティバル実行委員会 実行委員長 小園拓志さん、御代田町の町長となっております。名称がですね浅間国際フォトフェスティバル 2025 PHOTO MIYOTA。実施期間につきましては8月2日から9月30日、約1ヶ月間となっております。実施場所についてはMMoP（モップ）、御代田町役場の近くとなっております。参加費につきましては、こちらの一部が1,200円となっております。続きましてこちらの方が、1枚めくっていただくとですね申請書になっております。続きまして、5ページ目をめくっていただくと、收支予算書がついておりまして、収入が54,290,746円で、支出が同じく54,290,746円となっており

ます。ちょっと戻りまして2ページ目の申請書ですけど、まずこちらの名義使用を必要とする理由なんんですけど、御代田町の近隣市町の方々に芸術としての写真に親しんでいただくと共に、老若男女問わず、身近な写真というツールを通して、誰でも参加できる芸術として親しんでいただくことで生活を豊かに過ごしていただきため。ということで、こちらの方、申請が上がっておりまます。ご審議のほどよろしくお願ひします。

<宮本教育長>

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

<教育委員>

—承 認—

<宮本教育長>

ご承認されたということでよろしくお願ひします。

続いて資料5をお願いします。

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

はい。それでは資料5の説明をさせていただきます。

令和7年7月15日付で名義使用申請の依頼がございました。

申請者が合同会社 WIP 代表 栗林梨恵、事業名称は子育てワークショップです。主催者はインターナショナルスクールオブ長野、実施日が9月9日、9月27日、10月7日の3日間がありますが、それぞれ実施場所は異なっておりまして、軽井沢発地市庭では10月7日、火曜日の会を開催するということでございます。参加費等はなしということでございます。2ページは通知書です。3ページをお願いいたします。3ページの枠の中ですが、その名義使用を必要とする理由として、子ども・若者の育成支援に寄与する子育て支援の一環

として、地域の保護者が学び合い交流できる機会を提供するため後援を依頼します。ということになっております。

参加予定者数は各回20組、40名を予定しているということでございます。

4ページ5ページにつきましては企画書が添付してございます。この中で、4ページの方ですね、概要・趣旨のところで、1番から4番までの趣旨が記載されております。子育てに役立つコーチングスキルの提供ですとか、子育て家族の交流の場を図るですか、親が安心して学べる環境を提供、英語プレゼンテーションを通じた子どもの成長の発信、このようなことをやっていくということでございます。

6ページ、7ページにつきましては合同会社WIPの定款が添付してございます。この合同会社なんですが、長野県内でいくつか認定こども園ですとか一条校の小学校、それから中学校はフリースクールを展開している会社だということでございます。

最後の11ページには、同じく今年度やるイベントのチラシということで、長野市と中野市で実施するイベントのチラシを添付してございます。

以上でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

<宮本教育長>

よろしいでしょうか。ご意見等あれば。

これ注意が必要で、4ページのところの4番が、英語プレゼンテーションを通じた子どもの成長の発信ということでインターナショナルスクールで学ぶ小学生の様子っていうとか、あと5ページの2番ですね、インターナショナルスクールで学ぶ子ども達の様子、5分間ですけども、要はインターナショナルスクールの宣伝も含むわけですよね。

<教育委員>

学校説明会ですか？

<宮本教育長>

そうだから、そういう学校説明会にならないように、なんだろうな。要は子育てワークショップであるから後援するのであって、それを流しちゃいけないとは言えないけど、行った人たちが、学校説明会じゃないのかって思われないような形でやってくださいっていう注釈事項をつけるか、あるいは後援をしないか。

この今のインターナショナルスクールっていう部分のところ、これはある特定の学校の説明会について後援するっていうのは、あまりよろしくないと思われる所以、ちょっとご意見いただければ。

これね切原小学校の跡地に作る、佐久の。

だからあの学校を作る宣伝の一環だという側面はもちろんあると思われます。

子育てワークショップとは言っても、でも一応子育てワークショップについて後援しませんってわけにはいかないので、そこをどうするのかっていう。

ご意見ください。

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

今一応、学校というか、こども園というか展開しているのは松本市と長野市と中野市、この3つの県内の市で認定こども園ですとか、小学校とかを展開しているようでございます。

<宮本教育長>

どうしましょう。

こういうのがあるんだからこれ学校説明会でしょって判断して後援しないっていう手もある。そういう懸念があるんじや。実際に開校しますし。

<教育委員>

完全に宣伝ですよね。

このパンフレットの一番下の方に後援って長野県教育委員会、長野市、中野市って載ってるのは。

＜生涯学習課長補佐兼社会教育係長＞

これはもう後援をしてるんだと思いますが、今私申し上げたように長野市と中野市にはこの合同会社のキャンパスというか、拠点があるので、そういう意味もあって後援してるのかなと思ったりしています。こちらの方は特に施設はない。そういう中で軽井沢に展開してくるという意味は何なのかなっていうふうに確かに思います。

＜宮本教育長＞

想像するに、軽井沢町にはそういう傾向の意思のある保護者が多いっていう側面があるのは否めないですよね。

＜生涯学習課長補佐兼社会教育係長＞

教育熱心な保護者の方を取り込もうというような意図も感じ取れないとは言えないですよね。

＜宮本教育長＞

ただ一応今、北軽にもできるし、そういう学校のところが学校説明会のチラシを配って欲しいっていうのを、それは児童館でもそういったことはやったことがないし、それできませんって断っています。

＜教育委員＞

学校説明会ですよね。

<宮本教育長>

ということで、後援はしないっていうことで。

<教育委員>

これはインターナショナルスクールの生徒からのプレゼンみたいな部分が学校のPRに直接的に繋がるのかなと思う。例えば、ここはなしでプログラムとして成り立つのであれば、この子育てワークショップの部分だけのイベントにして、その団体がするっていうことは、選択肢としてなくはないという感じがするんですけど。それが難しくてやっぱりこれが必要ですっていうのだとすると、それが主の目的と判断をせざるを得ない。

<教育委員>

当然チラシを私はこういうふうにやってた側かなと思うんですけど、当然チラシをね、あのこういうの開校しますっていうチラシは配布するだろうなと思うんですけど、そこまでそれはしないでくださいっていうふうに後援側としては言えないと思うんですよね。それならば後援しないっていう形がやっぱりいいんだろうなあとは思います。

<宮本教育長>

後援する意味っていうのは、やはりチラシを配れるっていう、そこなんですね。小・中学校とかに配れる、子どもたちと保護者の目ということになると、今そういうことを考えるとそういうある特定の学校に関してはチラシを配ることについては、極力避けた方がいいと思って、チラシを配らないためににはやっぱり後援しないという選択肢だと思われるの、それはその他のところでやってください。町の中で、子育てワークショップを宣伝すること自体は別にそんなことを拒むわけにいかないので、自由にやってもらう。

では、後援しないということで、よろしいでしょうか。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

ということで、決定しました。

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

はい。

<宮本教育長>

資料5は以上で、資料6をお願いします。

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

はい。資料6をお願いします。

こちら7月11日付で名義使用申請後援の依頼がございました。申請者は公益社団法人日本カーリング協会 会長 貝森輝幸、事業名称は第6回日本ミックスカーリング選手権大会、主催者は公益社団法人日本カーリング協会で、実施日が8月21日、木曜日から24日、日曜日までの4日間です。実施場所は風越公園カーリングホール、参加費は1チーム5万円でございます。

3ページをお願いいたします。こちらが申請書になっております。

名義使用を必要とする理由として、後援を頂くことで、大会の認知度を高めカーリングの一層の普及に資すると考えられるため。

ということで事業の趣旨については、全国の予選を勝ち上がったチームによる全国大会で、ミックス日本一を決める大会です。

このミックスという種目がですね、オリンピック種目ではないということなんですが、通常4人でやるんですが男子が2人、女子が2人ということで、男女

ミックスのチームで競技をやっているようなものになっております。

4ページ、5ページ、6ページにつきましては開催要項が載っております。

各ブロックからの代表、それから優勝枠等のチームが全国から集まって、軽井沢で日本一を決定するということになっております。

7ページについては、役員とか実行委員会の名簿、軽井沢町長、軽井沢町議会議長、軽井沢町教育長の名前も連なっております。

9ページですが、収支が出ております。収入合計3,738,950円に対して支出額が同額ということで、営利目的にはなっていないということでございます。

10ページ以降には日本カーリング協会の定款が表示されてございます。

カーリングについては、会場は日本の中で数少ないということで、軽井沢、北海道、取り合いになってるような部分もあって、軽井沢もぜひ来てくださいというような立場で、今回は軽井沢でやっているというような経過もあるようございます。以上でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

<教育長>

いかがでしょうか？

<教育委員>

—承 認—

<宮本教育長>

はい。後援するということでよろしくお願いします。

次、資料7をお願いします。

<こども教育課長補佐兼学校教育係長>

はい、資料の7になります。令和7年7月14日付で名義後援申請があった件になります。申請者につきましては、特定非営利活動法人 軽井沢教育ネットワーク 諸星ひとみ、名称は、発達障がいのある子の保護者と支援者のための講演会、実施期間につきましては、令和7年9月20日、土曜日、13時30分から15時30分、主催につきましてはNPO軽井沢教育ネットワーク、実施場所につきましては軽井沢町中央公民館、参加費は1,000円となっております。

次のページ、2ページをお願いします。こちらの方は申請がありました申請書となっております。中ほどになります。名義使用を必要とする理由になりますが、発達障がいの理解啓発を促進するには、より多くの保護者・支援者に周知する必要があるので名義の使用を希望します。

また事業の趣旨につきましては、発達障がいのある子の保護者・支援者への理解促進によるもので、実施場所については、中央公民館、参加予定者につきましてはZoomオンラインで100人、会場の方で50人を予定しております。

次のページ3ページをお願いいたします。今回のこちらの講演会の予算案となっております。収入合計、支出合計ともに15万円を予定しており、こちらも當利を目的としているものではないと思われます。

次のページ、4ページから11ページまでが、こちらネットワークの定款となっておりますので後ほどご覧になっていただければと思います。

12ページをお願いします。こちらが今回実施する講演会のチラシの案となっております。信州大学附属病院の本田先生の後援会を予定しております。

18ページにつきましては、承認していただく場合の通知書の案となっております。こちらにつきまして、ご審議の方よろしくお願いいたします。

<教育長>

はい。よろしいですかね。

いかがでしょうか？

<教育委員>

—承認—

<教育長>

はい。後援ということで、決定しました。

ありがとうございます。

それでは協議事項以上で、5.その他、はいどうぞ。

5. その他

<児童係長>

児童係からお願ひいたします。その他の欄に記載させていただきましたが、保育園の運動会につきまして日程の方が決まりましたのでご案内させていただきます。

中保育園が9月17日の水曜日、西保育園が9月18日の木曜日、東保育園が9月19日の金曜日、南保育園が9月25日の木曜日、いずれも会場の方が風越公園の総合体育館で、9時から実施します。

教育委員のみなさまには、来月の定例教育委員会の際に招待状をお配りさせていただきますので、ご承知おきいただければと思います。

<教育長>

今年から、予めもう園庭ではやらないと、体育館、冷房があるところで開催する。

そのほかには。はい、お願ひします。

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

記載があります通り、毎度のところで申し訳ないです。庁舎改築周辺整備事業

のブロックプランについて資料8をお願いいたします。

毎回、毎回お知らせしておりますけれども、今回は、前回お話しました4月から6月にかけてのフェーズ1のブロックプランを作りますよ。というのが、固まりましたので今回皆様にお示しするものでございます。

1階、2階の平面図がございます。1枚目が1階、2枚目が2階ということになりますが、これ図面の上側に町道鶴溜線、図面の左の方の円形観客席という（）書きのものがありますが、その辺が今の役場の庁舎にかかるかな、もっとずっと左の方に行きますと、国道が通っている。というような位置関係になります。ざっと色分けしてありますけれども、青い水色の部分については庁舎、黄色とピンクの部分については交流センター、公民館を含めた交流センターということになっていまして、真ん中にセキュリティラインというブルーのラインが入っています。役場の庁舎が休みのときにはこのラインでセキュリティを確保するんだよというようなことで、見ていただければよろしいかと思います。この1階の図面に見ていただきますと、右の方、右から4分の1ぐらいのところがずっと斜線になっていますよね、黒い斜線、この部分についてはちょっと地下に埋まるというか、半地下みたいな形になります。なぜそうなるかといいますと、庁舎の建っているところのレベルと、それから、今、公民館の建っているこのグランドレベルが大体2m～3m違うんです。こちらの方が高いんですけど、庁舎に向かってちょっと下っているというようなイメージですので、その部分はちょっとその部分を掘削をして、1階の部分については少しドライエリアも一部設けますが、あまり日が当たらないということで網掛けの斜線の部分については、音楽スタジオだったりですとか、日が当たらなくても活動が十分にできるものを作つてあるというような仕掛けになっております。ですので図面の左側の方については南ロータリーがありますが、南ロータリーはもちろんこの1階の方から入れる、バスもここに入ります。そのような形になりますが、図面の右側については出入口はございませんで、次のページに2階の方に出口が出てきます。

図面の2枚目の右側の方に北ロータリー出入口というのがありますが、そこが今のところメインの出入口で、もうちょっと右の方に、目には入ってませんけれども、来庁者用の駐車場が広くなつて、場所としてはこの今の中公民館の駐車場あるいはこの中央公民館の敷地が来場者用の駐車場というような感じで見ていただければと思います。

今までいろんな意見をいただきまして、それをできるところは全部入れ込んでいくというような形の中で作っているのですが、全部を聞き入れるというのは、なかなか難しいので、できる範囲で、建物の面積は決まっているし、お金も決まっているという中で、できるものを作っているというような仕掛けで、これまだ確定ではありませんけれども、まだこれで直しがある中で、今現在ではこういう形になっているということです。

先ほども言いましたけど円形観覧席というのがあって、その並びに講堂（ホール）いうものがあります。こちらは今の中央公民館の大講堂に匹敵するものという形で、吹き抜けの広い空間の構造を作る。こちらには平場にして会議もできますし、観客席を出して公演とか、コンサート、大賀ホールほどではないにしても、コンサートができるような設えも作っていくというような造りになっています。

また住民から要望が多かった音楽ができるところ、音楽スタジオですか、そういったものを1階部分には設置してございますし、トイレの方も潤沢にどこでも使えるような形、誰でも使えるようなトイレというようなことで設置をしてございます。

先月ですね、中央公民館の利用者から意見を聞くワークショップを開きました、いろんな意見をまたそこでもいただいたんですが、そういうのも踏まえて、やっていくということで今後進めてまいりたいと思います。

また、料金についても、今、無料で使っているものがお金を払わなきゃいけなくなる。毎回こんな話しますけれど、うちの方としては、基本的には料金をいただくよ！ということで進めてまいりたいと考えております。以上、報告をさせていただきました。

<宮本教育長>

はいありがとうございました。はい、この場で何かご質問とかあるいはご意見ありますか。

<教育委員>

教育委員会事務局も入りますよね。

<宮本教育長>

ああ、教育委員会事務局入ります。

入らないのはあれだよね。保健センターの一部かな。

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

保健センターの一部はそうですね。今、定期的に検診しているものについては木もれ陽の里の方にそういうセットがもうできているので、定期健診についてはそちらでやった方がそういう部分はあちらに残すというようなことも今の段階では検討というか、そういう方向になってきました。

<宮本教育長>

この中央公民館2階でやっている、こども食堂の関係で、調理室は1階の方がいいんじゃないかっていう意見もあったんだけど、実は2階が1階なんですよね。こっちから行くと、すごい使いやすいっていうか、だから北から入る人は、ここから入ると2階なんですよ。南から入ると1階なんだよ。1階しか入れないから。だからこっちから入るのは2階に直に入る。だから下に下りる。こっちから入る。だから2階といつても実質、効率はいい、1階みたいなものだからもうすっぽつと入れる。そんな感じです。

はい。

よろしいですか。その他、ほかに。はい。

<こども教育課長>

はい。すいません。1点お願いします。

現在西部小学校東教室棟の工事、順調に進んでおりまして、こちらの方中間に教育委員さんにも見てもらおうということを考えておりまして、9月の定例

会が9月25日、木曜日にありますのでその定例教育委員会が終わった後に、すいませんけど、こちらの方から公用車で移動して、西部小学校の東教室棟の中間的なところを見ていただくような形で今予定をしておりますのでよろしくお願ひいたします。以上です。

<教育委員>

他に。その他は。はい。

<生涯学習課長補佐兼社会教育係長>

すいません。前回の定例教育委員会の中でもお話ししておりますけれども、来月の6日から8日まで、軽井沢夏期大学、77回目の夏期大学が開催されます。チラシは前回お配りしてありますが、ご都合よろしければぜひ聴講していただければと思います。以上です。

<宮本教育長>

はい。ありがとうございます。その他ございますか。いいですか。

<教育委員>

—承認—

<宮本教育長>

では、終わりましたのでお返しします。

6. 閉会

<こども教育課長>

はい。それでは7月の定例教育委員会を閉じさせていただきます。

ありがとうございました。